

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2000-351917 (P2000-351917A)
 【公開日】平成 12 年 12 月 19 日 (2000.12.19)
 【出願番号】特願 平 11-162912
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 D 1/00
 C 0 3 C 17/25
 C 0 3 C 17/30
 C 0 9 D 7/12
 C 0 9 D 183/02

【F I】

C 0 9 D 1/00
 C 0 3 C 17/25 A
 C 0 3 C 17/30 A
 C 0 9 D 7/12 Z
 C 0 9 D 183/02

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 7 月 14 日 (2004.7.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

C o、C r、M n、F e、N i、C u、Z n およびランタノイド (L a ~ L u) からなる群から選ばれる 1 種以上の金属の塩と、S i のアルコキシドまたはその部分加水分解物と、樹脂とを含む塗布液であって、塗布液中の前記金属の塩の全金属と S i との総量に対する S i の原子比が 0 . 2 8 以上である酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 2】

金属の塩が C u の塩と M n の塩とからなる請求項 1 に記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 3】

金属の塩が C u の塩と M n の塩と C r の塩とからなる請求項 1 に記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 4】

金属の塩が硝酸塩である請求項 1、2 または 3 に記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 5】

化学式 $\text{H O (C H}_2\text{ C H}_2\text{ O)}_n\text{ H}$ (ただし n は 2 ~ 8 の整数) で表されるエチレングリコールオリゴマーの 1 種以上を含む請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 6】

エチレングリコールオリゴマーが、ジエチレングリコール、トリエチレングリコールおよびテトラエチレングリコールからなる群から選ばれる 1 種以上である請求項 5 に記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 7】

塗布液中の前記金属の塩の全金属に対するエチレングリコールオリゴマーのモル比が 0

． 3 以下である請求項 5 または 6 に記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 8】

樹脂が水溶性樹脂である請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の酸化物膜形成用塗布液。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の酸化物膜形成用塗布液を基体上に塗布し、 3 0 0 以上の温度で焼成する酸化物膜形成方法。

【請求項 1 0】

基体上に請求項 9 に記載の酸化物膜形成方法により酸化物膜が形成されてなる酸化物膜付き基体。